

デジタルパックテスト®

全シアン

使用法

型式 DPM2-CNT

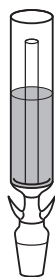
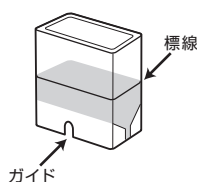
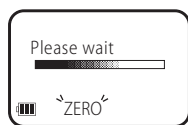
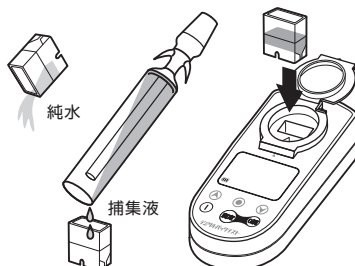
蒸留とピクリン酸吸光光度法による
Distillation and Picrate Absorptiometry測定範囲 CN^- 0.1~3.0 mg/L(ppm)

発色試薬 水質測定用試薬セット 全シアン(試薬No.46) (型式:LR-CNT)

測定時間 捕集液調製後 0分

測り方

※蒸留発色操作は、「全シアン検定器(型式 WA-CNT-2)」付属の使用法に従ってください。

①全シアン検定器で蒸留・発色させて
25mLに調整した捕集液を準備し
ます。②純水を専用カップの標線(1.5mL)
まで入れます。③長押しで電源を入れ、専用カップのガイドが
手前になるように測定部にセットします。④0調ボタンを押します。
ゼロ調整終了後、専用カップを
取り出します。⑤純水を捨てて、捕集液を専用カップの
標線(1.5mL)まで入れ、測定部にセッ
トします。

⑥測定ボタンを押します。



⑦測定値が表示されます。

株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
TEL:045-482-6937

特徴

この製品は、全シアン検定器(型式 WA-CN^T-2)によって得られた捕集液の吸光度を測定し、内蔵検量線から算出した検水中の全シアンの測定値(mg/L(ppm))を表示します。

測定に関する注意

1. 蒸留・発色操作については、全シアン検定器に同梱の使用法をご参照ください。
2. ゼロ調整に使用する専用カップと捕集液の測定に使用する専用カップは同じものをご使用ください。
3. 測定範囲の上限値を超えた場合、上限値と「OVER」が交互に点滅し、下限値未満の場合、下限値と「UNDER」が交互に点滅します。
4. 気温より水温が極端に低い場合、専用カップに結露が生じて曇り、測定値が高くなります。
5. 専用カップ内壁に気泡等が付着すると測定値が高くなりますので、付いた場合は専用カップを指ではじくなどして、できる限り取り除いてください。低濃度側では、誤差が大きくなりますので、特にご注意ください。
6. 専用カップの転倒、取り忘れ等で本体(特に測定部)に純水や捕集液がこぼれないように十分ご注意ください。万一、こぼれた場合には、直ちに拭きとり、軽く水を含ませた柔らかい布で数回拭いてください。
7. 専用カップがセットされていない時や黄色～茶色の発色の無い液で表示される数値は無効です。
8. オートパワーオフは30分に設定されています。

専用カップについて

1. 専用カップはポリスチレンでできています。
2. 専用カップ(10個入り 型式:WAK-CC10)は別売しています。弊社までお問い合わせください。

「共存物質の影響」は、「全シアン検定器 技術資料」をご覧ください。

「試薬に関するお知らせ」は、「水質測定用試薬セット 全シアン (試薬No.46)(型式 LR-CN^T)」同梱の紙をご覧ください。